

平成27年

11月号

(611号)



広報

かねやま



今月の主な内容

合併60周年	2
地区文化祭	6
話題の散歩道	8
お知らせ	10
図書室だより	13



町公式キャラクター
かぼまる

一人の笑顔はみんなの輝き
金山中学校文化祭

合併60周年の節目

時代は昭和から平成へ

昭和30年3月、川口村、本名村、沼沢村、横田村の4村が合併し、金山村が誕生してから60年が過ぎました。時代は昭和から平成に変わり、私たちの生活様式も大きく様変わりしています。今月はその60年の歴史を振り返ってみます。



町制施行記念式典

1960年(昭和35年)
国勢調査人口がピークの10,119人となる

1959年(昭和34年)
横田鉦山が操業を開始

1958年(昭和33年)
町政施行により、金山町となる

1956年(昭和31年)
国鉄会津線(現在のJR只見線)が川口まで開通

国勢調査が実施され、人口9,555人になる

1955年(昭和30年)
川口、本名、沼沢、横田の4カ村が合併し金山村が誕生
村議会議員選挙が執行され22人の村議会議員が誕生

1962年(昭和37年)
金山町商工会が発足

1963年(昭和38年)
川口、只見間の資材運搬線が国鉄只見線として営業を開始

1964年(昭和39年)
川口金洗地区に国保診療所開設

「広報かねやま」第1号を発刊

1965年(昭和40年)
国鉄只見線に本名、越川、大塩駅が新設され、ダイヤゼルカー準急あいづ号の運転も開始

1966年(昭和41年)
川口に町内初の常設保育所を開設

1969年(昭和44年)
国保診療所に歯科が開設
記録的な集中豪雨により豪雨災害が発生し、死者8名、家屋の全壊流失22棟、水沼橋流失などの被害

テレビの普及などをはかるため、放送文化都市を宣言



昭和44年の集中豪雨(大岐地区)



待つ川口駅



田代鉱山の創業記念式典

1970年(昭和45年)
田代鉱山が操業を開始

1973年(昭和48年)
第1回沼沢湖水まつりが開催

小栗山地区に奥只見国際スキー場がオープンし、地区内に民宿16件も開業

1974年(昭和49年)
玉梨地区に国民保養センター「せせらぎ荘」がオープン

1976年(昭和51年)
川口地区に開発センターが開館し、合併20周年記念式典と記念行事を開催

1977年(昭和52年)
沼沢地区に自然休養村センター「あらはま」がオープン

1984年(昭和59年)
第1回町民運動会を開催

1985年(昭和60年)
中川地区に町民体育館が完成

町民憲章、町民の歌、金山音頭を制定

1987年(昭和62年)
会津川口駅に金山町農協と川口郵便局を合築した民衆駅が業務を開始



農協・郵便局を合わせた複合施設となった川口駅

1981年(昭和56年)
第二沼沢発電所の1号機が運転を開始

1982年(昭和57年)
役場の新庁舎が完成し、業務を開始

1984年(昭和59年)
第1回町民運動会を開催

1985年(昭和60年)
中川地区に町民体育館が完成

町民憲章、町民の歌、金山音頭を制定

1987年(昭和62年)
会津川口駅に金山町農協と川口郵便局を合築した民衆駅が業務を開始

1989年(平成元年)
社会福祉法人金山町社会福祉協議会が設立され、中川地区に老人福祉センター「ゆうゆう館」がオープン

1990年(平成2年)
中川地区に特別養護老人ホーム「かねやまホーム」がオープン

「妖精の里づくり」を宣言

1991年(平成3年)
大蛇が完成し、湖水まつりに登場

1992年(平成4年)
中川地区に活性化センター「こぶし館」がオープン

2000年(平成12年)
川口地区で携帯電話の使用が可能になる

1993年(平成5年)
沼沢地区に「妖精美術館」がオープン

1995年(平成7年)
中川地区に若者向け町営住宅「カッコウハウス」が完成

2004年(平成16年)
新潟中越地震発生、町内でも多数の被害

2005年(平成17年)
沼沢地区に「椎名誠写真館」がオープン

2001年(平成13年)
よこたデイサービスセンターが横田出張診療所も併設しオープン

2006年(平成18年)
合併50周年

川口高校で「地元学」の授業がスタート

2002年(平成14年)
山入地区に芸能伝承館「ふるさとむかし館」が完成

2007年(平成19年)
小栗山地区で大規模な土砂災害が発生



開通列車を



金山中学校新たな歴史がスタート

2008年(平成20年)

- ・会津かねやま振興公社が解散し株式会社会津かねやま設立

- ・日本の里100選に「中川」が選定

2009年(平成21年)

- ・第一中学校、横田中学校が閉校し、金山中学校が開校

- ・乗合タクシー運行開始

2010年(平成22年)

- ・株式会社奥会津かねやま大自然が設立

2011年(平成23年)

- ・新潟・福島豪雨災害のため

2013年(平成25年)

- ・め住宅被害103棟、二本木橋他2橋流失、災害救助法が適用される

2014年(平成26年)

- ・中川地区に道の駅「奥会津かねやま」オープン
- ・公式キャラクター「かほまる」誕生
- ・金山町少子化対策推進条例を制定

2015年(平成27年)

- ・川口地区に川口高校「若桐寮」を開所

2015年(平成27年)

- ・交通事故死亡者ゼロ300日を達成

60年の節目を祝う



式典の様子

合併60周年記念式典及び公営施設落成式が、10月18日に御神楽館において執り行われました。式典は、畠利行福島県副知事を始めとしたご来賓のご臨席のもと厳かに行われ、町内外からの出席者は町の歴史を振り返りながら、これからの金山町に思いをばらせていました。



開発センターで行われた昼食会

あいさつ



金山町は、昭和30年3月31日に、沼沢村、川口村、本名村、横田村の4つの村が合併して誕生しました。

合併した当時は国家的プロジェクトであった只見川電源開発事業の真っ只中であり、人口も順調に増加し、合併から5年後の昭和35年には1万人以上の町民が暮らしておりました。

ところが、ダムの建設が終了すると一転して人口の流出が始まり、以降は過疎対策、そして加速度的に進行了た少子・高齢化への対応に、町の総力を挙げて取り組む日々が続いております。昭和52年には「自然教育村宣言」を行い、都会の子どもたちに自然や農林業に触れる体験学習の場の提供を始めたほか、平成2年には「妖精の里」の開村を宣言し、日本の原風景が色

濃く残る金山の魅力を活かしたまちづくりに取り組んでまいりました。

また、県内一、全国でも最上位クラスの高齢化率に対応するため、平成元年に老人福祉センターを開設したほか、様々な高齢者福祉施設の整備を図るとともに、生涯現役を実現するための健康づくり運動も合わせて進めております。

さらには、「奥会津金山学びの18年」を始めとした教育環境の充実、特産品で

ある赤カボチャ、エゴマなどの農産物の振興、道路、下水道といったインフラの整備など、町の魅力を高め、1人でも多くの方に金山に定住していただくための施策を積極的に展開してまいりました。

こうした中、平成23年3月に発生した東日本大震災では、地震による直接の被害は少なかったものの、原発事故の影響で、沼沢湖のヒメマスは今も捕獲、出荷が制限されております。



災害からの復旧



子どもたちの明るい未来

また、同年7月に発生した新潟・福島豪雨では、多くの家屋が浸水したほか、国道や只見線の橋梁が落橋するなど、昭和44年の豪雨災害に匹敵するほどの甚大な被害を受けました。

しかしながら、町民の皆様懸命な努力と、国、県などの御協力によって、町の復興は順調に進んできております。

今後は只見川圏域河川整備計画の早期実現と、復旧の見通しが示されていない只見線の全線復旧に力を尽くしてまいります。

また、金山の豊かな自然環境を活かしながら、他に

はない天然炭酸水、炭酸温泉を始めとする豊富な温泉群、沼沢湖といった地域の宝を磨き上げ、交流人口の拡大に向けた取組を進めてまいります。

金山町が将来にわたって存続・発展していくためには、今が正に正念場であると思っております。

冷静に現実を見つめ、金山町の良さをしっかりと守りながら、新たなことに大胆に挑戦し、町の未来を切り開いてまいりますので、引き続き御協力をお願いいたします。

平成27年10月18日
金山町長 長谷川盛雄

地区文化祭

11月3日に町内4つの公民館で文化祭が行われました。開発センター改修のために2年ぶりの開催となった川口公民館を始め、どの公民館でも手芸品や書道などの

作品が数多く展示されていました。

また、おかあさん食堂も出店され、大勢の住民の方たちが秋の一日を楽しんでいました。



チームKSG「妖怪体操第一」

横田公民館



音語り



賑わう婦人会食堂



舞踊「竜虎も舞」



「海峡わかれ町」

本名公民館



本名スポーツクラブ「八木節」



盛況の農産物販売



舞踊「矢切の渡し」



カラオケ「南部蝉しぐれ」

沼沢公民館



郷土芸能「三番叟」



沼沢芸能保存会「合唱」



カラオケ
「伊豆の渡り鳥」



展示物もたくさんありました

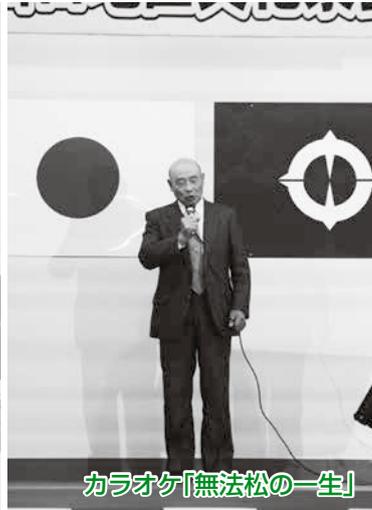


赤カボチャの重さ当てゲーム

川口公民館



カラオケ
「昔の名前で出ています」



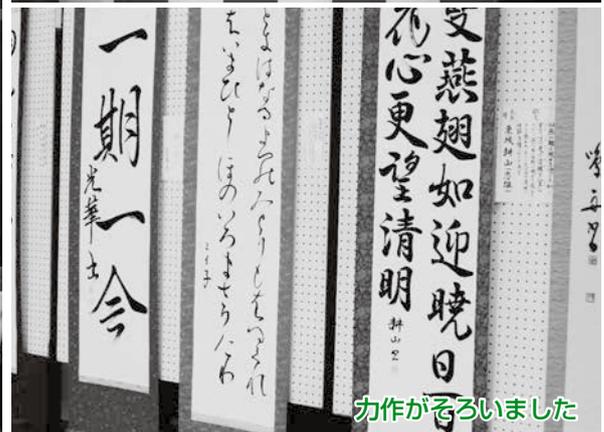
カラオケ「無法松の一生」



川口母の会のみごとなおどり



寸劇「上には上」



力作がそろいました

おみこし 御神輿担いで元気にわっしょい



3年生によるステージ発表

「わっしょい！わっしょい！」と元気な掛け声で神輿行列から始まったのは金山中学校文化祭です。金山中学校からJR只見線会津川口駅前まで自分たちで作りに上げた神輿を担いで練り歩きました。

学校に戻ってからは、県大会に出場した合唱や各学年の学習体験やステージ発表、英語弁論などが披露されました。演し物の中には先生たちが登場する場面もあり、会場からは笑いや拍手がおきていました。また、会場には生徒たちの絵や習字、美術作品などが多く展示され保護者や地域の方たちが鑑賞していました。バザーも行われ、保護者らがたくさんの商品を買い求めていました。

大学生が泊まり込みで農業体験

明治大学生がファームステイで金山町を訪れました。この実習は地方の農家で農業体験を行うもので、10月4日から10日まで滞在しました。大学生は「金山町は赤かぼちゃやえごまの収穫ができると聞いて来てみたいと思った。しかし実際に来てみると、それ以外の農作物もたくさんあった」「都会には無い地域の人々の繋がりがあり、温かく迎えられとても安心した」と、話していました。

学生を受け入れた久永太朗さん（大志）と五ノ井孝喜さん（大志）は、「収穫したものを自分達で加工して食べるという、自給自足の生活をさせてあげたい」と話していました。



脱穀の実習です

ファームステイなどの実習で、町外の大学生が金山町を訪れることが、地域の活性化につながることでしょう。

無災害への 新たな誓い

金山町消防団の秋季検閲式が10月11日に町民体育館で行われました。雨天のため屋内での検閲式になりましたが、団員たちは横田訓練指導員の指揮によりきびきびとした動きで列を組んでいました。引き締まった表情の団員たちは来賓や婦人消防クラブ員たちが見守る中、福島県消防協会会津坂下支部長による通常点検を受け無災害への誓いを新たにしていました。



通常点検を受ける団員



こぶし館で
接客の体験

脈拍を測ります

働くことの厳しさを学ぶ

川口高校生による職場体験が、10月6日から3日間にわたり町内の各事業所で行われました。生徒たちは事業所の方たちに仕事を教わりながら機械の操作や、接客など普段の授業とは違った体験をしました。この体験を通して生徒たちは働くことの苦労や、仕事を終えた達成感などを学んでいたようでした。

役場で職場体験を行った星理隆さん（川口）と佐藤葵さん（川口）は広報紙の取材やいきいき生活倶楽部の手伝い、文書の封入などを体験しました。左の記事は星さんと佐藤さんが取材した記事です。

若さあふれる出し物が勢ぞろい

川口高校で若桐祭が一般公開され、大勢の方たちが来校し楽しいひと時を過ごしました。

若桐祭は10月17、18日の2日間にわたり催され、食堂やお化け屋敷、縁日など各クラスや部ごとに趣向をこらした催しや展示がされました。



満席の食堂



会場を盛り上げたステージショー

また、18日は歌手のAveさんらによるステージショーも行われ会場を盛り上げました。生徒会長の横田孝則くんは「たくさんの方にご来場いただき大成功だと思います。それには、先生や保護者、そして地域の方たちのご協力があったおかげです」と感想を述べてくれました。

多彩な演技に拍手喝采

10月31日に催された横小まつりでは、全校児童11名による劇「浦島太郎とゆかいな仲間たち～新しい英雄、始まる～」が上演されました。子どもたちの一生懸命な演技やダンス、縄跳びや鉄棒の技の発表に来場者たちは惜しめない拍手を送っていました。

また、子どもたちが田植えや稲刈りなどを行った米作り体験発表や、そのもち米を使った餅つきも行われ、保護者や地域の方と子どもたちが一緒になっておいしいお餅を食べました。



11人のこどもたち

ごっつおを食べて楽しい時間を満喫



釣りゲームを楽しむ来場者

今年も奥会津ごっつおまつりが10月24、25日に中川地区で催されました。トロッコ列車が運行されたこともあり、県内外からたくさんの来場者がありました。

会場には、そばやお餅、味ぶかしなどたくさんのごっつおが並び、どれから食べようか迷っていたお客様もいたようです。そのほか、新そばの早食い競争や釣りゲームなどのイベントも行われ、参加者と応援する人たちは楽しい時間をすごしていました。

お知らせ

今月の納税

● 国民健康保険税	4期
● 後期高齢者医療保険料	4期
● 介護保険料	4期
● 水道使用料	11月分

納期限は
11月30日
です

納め忘れに
ご注意ください

案内

町議会議員一般選挙 11月29日投票日です

11月29日(日)は金山町議会議員一般選挙の投票日です。忘れずに投票しましょう。

◆期日前投票◆

投票日に仕事や旅行などで投票所に行けない人は、期日前投票をすることができま

▼期間 11月25日(水)から11月28日(土)まで

▼時間 午前8時30分から午後8時まで

▼場所 金山町役場または横田出張所

◆不在者投票◆

投票日に出稼ぎや入院などのため投票所に行けない人は、不在者投票をすることができま

ねください。
◎問い合わせ：金山町選挙管理委員会・金山町明るい選挙推進協議会
☎54-5215

申告は適正に

税務署では、適正かつ公平な課税を行うため、不動産使用料の支払い調書などをはじめとする各種情報を収集・分析するとともに、納税者の方に自発的な適正申告を行っていただくための取組を充実させていくこととしております。

納税者の皆様におかれましては、適正申告を行っていただくため、再度、申告内容の自己点検(見直し)を実施していただき、誤りがあった場合には早期に自主的な修正申告等の提出をお願いいたします。
※調査によらない自主的な修正申告書の提出については、過少申告加算税は課税されません。(無申

告又は当初申告が期限後申告の場合は、無申告加算金が課される場合があります(りませぬ)。
◎問い合わせ：会津若松税務署個人課税第一部門
☎0242-27-4311

F Mラジオ中継局の試験を行います

11月下旬より金山町F Mラジオ中継局の試験を行います。もし、F Mラジオやテレビに雑音や画面が乱れるなどの障害が出ましたら、障害の出た時間や状況などを左記の連絡先までご連絡ください。尚、東金山中継局の周波数は77.8MHzで今年度内に本放送を開始する予定です。

受信障害の連絡先

●金山町復興政策課 復興政策係
☎54-5203

●(月)金午前9時(午後5時)
●ラジオ福島放送

業務センター
☎024-534-5712
(全日午前9時(午後6時)

◆ご注意ください

お問合せの内容によっては、ラジオ福島の技術社員が調査のためお伺いすることがありますが、金銭を要求することは一切ございません。受信障害対策員を装った悪徳商法・詐欺行為はくれぐれもご注意ください。

ふるさと情報発信

町のホームページから金山町公式YouTubeや金山町公式facebookがご覧になれます。ぜひご覧ください。

珍しい光景や地区の行事などみなさんからの情報提供もお待ちしています。

◎問い合わせ…復興政策係
☎54-5203

これからの予定

★11月★

▼13日(金)
はいはいクラブ
午前10時(ゆつゆう館

▼16日(月)
からだ楽々教室
午前9時30分(ゆつゆう館

▼18日(水)
免許更新
午前9時(ゆつゆう館

▼20日(金)
からだ楽々教室
午前9時30分(ゆつゆう館

▼27日(金)
乳児・1歳6カ月
2歳児健診
午後1時30分(ゆつゆう館

★12月★
▼4日(金)
はいはいクラブ
午前10時(ゆつゆう館

▼10日(木)
人権・行政合同相談会
午前10時(ゆつゆう館

▼12日(土)
保育所合同おゆつぎ会
午前9時30分(ゆつゆう館

▼12月(土)
保育所合同おゆつぎ会
午前9時30分(ゆつゆう館

募 集

町内保育所の 入所児童募集

保育所では、平成28年度の入所児童を募集しています。入所資格は、家庭で十分な保育をすることができない幼児です。

平成28年4月から入所を希望する方は、入所申込書を提出してください。

◎問い合わせ：
川口保育所

☎54-2822

横田保育所

☎56-4140

自衛官募集

自衛隊福島地方協力本部では平成27年度高等工科学校生徒を募集しています。

▼受験資格

【推薦】

男子で中卒(見込み含)17

歳未満の成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な成績を納め学校長が推薦できる者

【一般】

男子で中卒(見込み含)17

歳未満の者

▼受付期間

【推薦】

11月1日(日)

12月4日(金)

【一般】

11月1日(日)

平成28年1月8日(金)

▼試験期日

【推薦】

平成28年1月9日(日)

11月11日(祝)のいづれか1日

【一般】

平成28年1月23日(土)

◎問い合わせ：
自衛隊福島地方協力本部会

津若松出張所

☎0242-2716724

PMライトオン運動 早めの点灯！こまめに切り替え！

夕暮れ時の交通事故に気をつけましょう。

1. 午後4時を目安に早めにライトを点灯しましょう。
2. ライトのこまめな上下切り替えをしましょう。
3. 歩行者等は、反射材や懐中電灯等を活用しましょう。

金山町交通対策協議会

振り込め詐欺に ご用心

不審な電話がかかってきたらまずは相談を！

◎問い合わせ…

保健福祉係

☎54-5135

ご寄付に感謝

一般寄付金

●金山町上横田の

滝沢博一さんより三万円

ご寄付は地域の活性化などに活用させていただきます。

ふるさと応援寄付金

●愛知県高浜市の

長谷川郁朗さんより

五千元

●埼玉県川口市の

高倉優一さんより一万円

匿名希望の方1名から

二万円

ご寄付は自然環境の保全事業や福祉の充実などに活用させていただきます。

広報送付に対して

●埼玉県川口市の

岩本照子さんより一万円

ご寄付は広報紙面の充実に活用させていただきます。

自家消費食品等の 放射性物質簡易測定の結果について

複数の検体を測定している場合は最低値と最高値を表示しています。

(測定年月日 平成27年10月1日～平成27年10月31日)

※「ND」は、10ベクレル/kg未満です。(単位：ベクレル/kg)

品名	測定件数	未検出数	セシウム
			(134+137合計値)
ナメコ	2	0	15.2～39.1
サツマイモ	1	1	ND
白米	1	1	ND
むきたけ	1	1	ND
地下水	3	3	ND
夏キャベツ	1	0	17.6
水道水	1	1	ND
里芋	1	1	ND
焼却灰	1	0	380.4

※厚生労働省が定める一般食品の放射性セシウムの基準値は100ベクレル/kgです。

町では自家消費の食品等について放射線測定を役場と横田出張所で行っています。

なお、販売用食品の測定については農林振興係にお問い合わせください。

◎問い合わせ 保健福祉係 ☎54-5135 (自家消費食品について)

横田出張所 ☎56-4111 (自家消費食品について)

農林振興係 ☎54-5321 (販売用食品について)

水道水の放射性物質 検査結果

町では定期的に町水道の放射性物質モニタリング検査を実施しています。

10月28日現在で町内水道水から放射性セシウムは検出されていません。

【参考】

国が定めた飲料水の基準値
放射性セシウム

10ベクレル/kg

◎問い合わせ…上下水道係

☎54-5315

乗ろう・守ろう・つなごう

みんなの只見線

只見線復旧復興基金への 寄付のご報告

町内の施設やイベントの際に設置しております、只見線復旧復興募金箱に募金いただきました浄財は次のとおりです。

イベント名	月 日	金 額
町内施設設置		2,805円
道の駅七夕まつり	7月 4日、5日	12,195円
道の駅軽トラ市（7月分）	7月20日	826円
沼沢湖水まつり	8月 1日、2日	58,465円
道の駅泡パーク	8月 7日	6,204円
道の駅夏休み子供まつり	8月15日、16日	42,634円
奥会津かねやま物産と観光展 ※コラッセふくしまで開催	9月 9日、10日	7,300円
道の駅軽トラ市（9月分）	9月20日～23日	43,972円
道の駅軽トラ市（10月分）	10月12日	8,952円
道の駅ミニ四駆大会	10月17日、18日	8,341円
ごっつおまつり	10月24日、25日	18,438円
合 計		210,132円

これらは福島県只見線復旧復興基金へ寄付いたしました。皆さまへのご厚意に感謝いたしますとともに、引き続き募金活動を継続してまいりますのでよろしくお願いいたします。

◎問い合わせ…復興政策係 ☎54-5203



秋の収穫そして冬へ

地域おこし協力隊 ^{はっとり}八鳥 ^{よしひろ}嘉浩

協力隊の八鳥です。

収穫期に入り忙しい毎日を過ごしています。今年は昨季の大雪の影響で半月ほど作業がずれ込んでしまい秋本番のこの時期、各地のイベントに関わることができず残念であります。

（株）奥会津金山大自然では稲の収穫のあと、えごま・五葉豆の収穫そして冬の準備、雪が降り出したらアザキ大根の収穫、並行してフリーズドライ商品などの加工品、そして自分の製作した「アザキ大根飯ふりかけ」の製造販売や杵つき餅の生産…と年末まで忙しい状態が続きます。思えば協力隊の任期も残り半月ばかりになり3年が経ちますが、あっという間だったと感じています。協力隊として活躍できる環境がなく町のためになかなか力になれていないのですが、任期終了後、金山町に定住できるように残りの

期間を頑張っていきますのでどうか皆様のご協力よろしくお願いします。

写真は雲上に浮かぶように見える大志集落、好きな風景です。



○新刊紹介

悩んでいた母親が 一瞬で救われた

／平 光雄 著 (致知出版) **一般向け**

小学校教師歴32年、1,000組以上の親子と対話を重ねてきた道徳指導のカリスマ教師が説く、実践的子育て論。

簡単なのにごちそう、 焼きっぱなしオープンレシピ

／若山 曜子 著 (宙出版) **一般向け**

オープン料理といえば「面倒くさそう」でも実は食材を切って、並べて、ほうりこんだら、あとはほったらかしでOKのラクラク料理。

○10月の公民館図書室利用状況

貸出冊数 61冊 (うち児童書 8冊)

*お一人様3冊まで2週間借りられます。(土曜日利用可)

◎問い合わせ…

中央公民館 ☎54-5333

映画鑑賞会

ミニオンズ

と き: 12月19日(土)
13:00~14:40

と ころ: 御神楽館

入場
無料



◎問い合わせ…中央公民館 ☎54-5333

あの人この人

10月届出 (敬称略)

こんにちは赤ちゃん

渡部 瑛斗 (父・渡部 貴裕) (中川)
母・ 暢子

お二人で幸せに

今月は該当がありませんでした。

霊よ安らかに

浅井 徳次 (79歳)	横田
栗田 周市 (90歳)	小栗山
栗田 ヨリ子 (88歳)	本名
佐藤 力ホル (103歳)	沼沢
角田 一男 (90歳)	三更
角田 平吉 (88歳)	西谷
中丸 イセ (90歳)	大志
長谷川 由太郎 (80歳)	西谷
米澤 敬子 (78歳)	山入
渡邊 清規 (92歳)	本名

※このコーナーに掲載を希望されない方は、届け出時に申し出て下さい。

金山町の人口 (11月1日現在)

世帯数 1,086世帯 (± 0)

人口 2,229人 (- 6)

男 1,060人 (- 4)

女 1,169人 (- 2)

※()内は先月比 住民基本台帳から

金山町国保診療所 歯科医師だより

「歯周病」

歯科医師 市川 公久

今や国民病とも言われている歯周病ですが初期段階では顕著な自覚症状がない病気です。歯周病は以前から糖尿病、心臓病、肺炎などと密接な関連があると言われていて特に糖尿病との関連性が強いと言われています。血糖値のコントロールがうまくいっていないと歯周病が進行するとか歯周病のコントロールがうまくいっていないと血糖値が下がりにくいというような関連性です。

歯周病の原因は歯周病菌で歯肉の炎症から始まる歯周組織疾患です。そこで歯周病の予防法の第一段階が「適切な歯磨き」です。と言ってもなかなか「適切な歯磨き」とはどういった磨き方かがわからないのが現状ではないでしょうか？また、歯石沈着も歯周病の原因です。歯周病はまず歯と歯の間の歯肉が赤く腫れてくることから始まりますが軽度ですと無症状ですので気づかないことが多いです。また、多くの方が実際に歯に歯石が沈着している状態を見たことがないのではないのでしょうか？口の中がネバつくとか口臭が気になるというのも歯周病の症状です。

もし、歯周病に関してご自分の状態が知りたいとか適切な歯磨きの方法を知りたい場合は、診療所で無料相談を受けることをお勧めします。



大会出場目指して頑張ります

おじゃまします

ふくしま駅伝

「希望ふくしま」

今月は11月15日に開催される市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）に参加する「希望ふくしま」の金山町チームを紹介します。

合同チーム 「希望ふくしま」

金山町は三島町、檜枝岐村、湯川村、昭和村、川内村、葛尾村との合同チーム「希望ふくしま」としてふくしま駅伝に参加します。今年で3年目になりましたが、7月から月1回の合同練習に参加し、他町村の選手らと交流を深めています。

中学生主体の金山町

金山にいる選手たちは、今年の2月から週1回程度の練習を始め、7月からはマラソン大会に参加したり、他町村との合同練習や合宿などトレーニングを重ねて来ました。

監督である川口高校の小檜山淳先生は「今年チームとして20番代を目指しています。先日の選考会で、金山町の選手が登録選手枠の22人に全員入ったことは

みんなが練習してきたことの成果だと思えます。タイムも夏から比べると縮んできているのでとても楽しみです。本番で走る選手は前日決定しますので、金山の中学生にもぜひ頑張ってもらいたいです」と話します。

選手たちの意気込み

中丸未結さん（大志）

「大会まで毎日体力作りをして、本番に走れるように頑張りたいと思います」

五ノ井詩穂さん（水沼）

「これから本番まであきらめずに練習を続けていき、試走も頑張りたいです」

栗田爽さん（川口）

「去年、タスキをつなぐことが出来なかったのですが、今年こそタスキをつなぎたいです。」

渡部翔太さん（横田）

「今年も選手として出場し、監督の思いに応えられるよう最高の走りを目指します」

とそれぞれ話してくれました。

選手たちの走りを応援して下さい。

町民憲章

- 一 自然を愛し、美しい町をつくりましょう
- 一 健康で、生きがいのある町をつくりましょう
- 一 教養を高め、文化の町をつくりましょう
- 一 親切をつくし、豊かな町をつくりましょう
- 一 決まりを守り、明るい町をつくりましょう

広報文芸

金山俳句会 十月句会



稲の穂の稔り豊かやペタル漕ぐ

横山 軍介（川口）

年毎にここも荒地の花野かな

五ノ井 フミ（川口）

金婚の賀司受く友よ敬老日

目黒 孝子（上横田）

赤蜻蛉羽音聞こゆるごと多し

目黒 隆弥（宮崎）

俳句に興味のある方や俳句会へ入会を希望される方は中央公民館まで連絡して下さい。

☎ 54-5361